

### 経営(継業)のツボ

### 理念



はやかわ・ひろし

経営コンサルタント。1991年に独立。介護事業に関する独自の調査に基づいたデータ分析を各誌・紙に発表。著書に『早川浩士の常在学場』(筒井書房)、『介護人材創造塾』(筒井書房)、『介護保険改正に勝つ! 経営』(年友企画)、『データで徹底分析 介護事業の最新動向と経営展望』(日本医療企画)など。

http://www.hayakawa-planning.com  
ブログ: http://ameblo.jp/hayakawa-planning/

### 転期に立つ経営者の資質の鍛え方<sup>65</sup>

## 理非曲直

早川浩士

有限会社ハヤカワプランニング代表取締役

### 理非曲直を正す

東日本大震災の惨状を見聞きするにつけ、「想定外の地震と津波」の言葉が脳裏にこびりつく。

だが、人口3000人の岩手県普代村は、「15mの波が来た」という明治三陸沖地震による津波で439人の犠牲者を出した教訓を踏まえてつくられたという高さ15・5m、全長205mの普代水門が津波をはね返し、住民の命を守りきったという。

「想定外」を言い訳の慣用句にしてはならない。責任回避のようには聞こえてこないからだ。

一方、海外メディアから見た日本の評価は少し違った。

米紙NYタイムズは、「日本人々には真に高貴な忍耐力と克己心がある」と賞賛した。

阪神大震災時に東京支局長だった執筆者は、当時も今回も商店の襲撃や救援物資の奪い合いが見られないことを称えたのである。

2005年8月29日、最大風速78m/Sの巨大ハリケーン「カトリナ」襲来によつて史上最悪の自然災害に見舞われた米国にとつて、その後の出来事が天地の開き

ほど異なっていたので、「間違いない学ぶべきものがある」と米国民に投げかけたものだ。

「理非曲直を正す」という倫理規範を考えさせる字句がある。

「理非」とは、道理(人の行うべき正しい道)に叶っていないことと外れていること。道徳的に正しいことと間違っていること。

「曲直」とは、曲がったことと真つすぐなこと。正しくないことと正しいこと。

大惨事の最中、それらの是非を問うまでもなく冷静な行動をとつた日本人の意識を世界は固唾を呑んで見ていたことこそが、想定外だったと言ふべきであろう。

### 想定外とは……

3月26日付朝日新聞の「小さな介護施設が支援の手を・相馬市」との見出しをWEB上で目にしたのは、翌27日のこと。

複数事業所連携事業で訪問したことのあるグループホームだった。「SOSです! 誰か助けてくれる人はいませんか?」と。

真冬並みの寒さのなか、灯油不足で使えるストーブは1台だけ。福島原発から40kmも、放射能に対

する不安からエアコンは使っていない。被災しなかったため食料も物資も届きにくく、米は近所や家族から譲ってもらうなどで12日間をしのいだこと、3食分のおにぎりを市から用意してもらえたのは23日から。だが、他の物資は「避難所の分しかない。開いたお店を探して買ってほしい」と断られ、介護に必要なオムツなどの物資を求め、スーパーの長蛇の列に並んだ。津波で1人の職員を失ったことを悼む暇もなく、昼夜を問わず頻発する余震。「入居者を不安にさせることなく気丈に振る舞う職員たちも被災者であり、心身ともに疲労が蓄積しているものの、誰1人逃げ出さずにいるので何としても皆を守りたい」と、3月に管理者になったばかりのAさんの訴えが心に刺さった。

野菜が欲しいとの求めに応えるとともに、ブログを通してこの状況を発信したところ、1週間で30件を超す支援物資が全国各地から届けられた。

この場を借りて、皆様のご厚意に心よりお礼を申し上げます。想定外とは、このようなときにこそ用いるべきではなからうか。